

作成日 2023年 9月 7日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

| | |
|---------------|--|
| 化学品の名称 | ナトリウム=イソプロピルベンゼンスルホナート Sodium propan-2-ylbenzenesulfonate |
| 製品名 | クメンスルホン酸ナトリウム |
| 製品コード | F-016827 |
| SDS整理番号 | ZC23020-01 |
| 会社名称 | 善ケミカル株式会社 |
| 住所 | 東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階 |
| 電話番号 | 03-3839-5861 |
| FAX番号 | 03-3839-5877 |
| 緊急連絡電話番号 | 03-3839-5861 |
| 推奨用途および使用上の制限 | 界面活性剤 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-----------------------|--------|
| 物理化学的危険性 健康に対する有害性 | 該当区分なし |
| 急性毒性(経口) | 区分4 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2A |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分3 |
| 環境に対する有害性 | 該当区分なし |

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

【安全対策】

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P330 口をすすぐこと。

P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

P337+P313 目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別
化学名または一般名

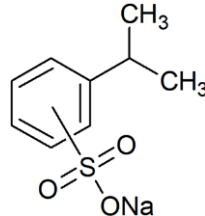
単一物質
ナトリウム=イソプロピルベンゼンスルホナート
Sodium propan-2-ylbenzenesulfonate
(1-メチルエチル)ベンゼンスルホン酸ナトリウム、クメンスルホン酸ナトリウム

慣用名または別名

CAS番号
分子式（分子量）

71407-44-8 / 28348-53-0 / 15763-76-5
C₉H₁₁NaO₃S (222.24)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
官報公示整理番号

91.0%以上

化審法： -
安衛法： -

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

ただちに医師に連絡すること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

情報なし

情報なし

情報なし

関係者以外は安全な場所に退去させること。

消火作業は風上の安全な地点から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動すること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

個人用保護具を着用すること。

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の方法および機材

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させること。

環境中に放出してはならない。

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収すること。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

『8.ばく露防止および保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

適切な保護具を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

衛生対策

この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。

保管

技術的対策
安全な保管条件

取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

情報なし
容器を密閉し、冷暗所に保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
設備対策

情報なし
この物質を取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。

保護具
呼吸用保護具
手の保護具
眼、顔面の保護具
皮膚および身体の保護具

防塵マスク
保護手袋
保護眼鏡
保護衣

衛生対策

この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。

9. 物理的および化学的性質

物理状態
色
臭い
融点/凝固点
沸点または初留点および沸点範囲
可燃性
爆発下限界および爆発上限界/可燃限界
引火点
自然発火点
分解温度
pH
動粘性率
溶解度
[水]
[その他の溶剤]
n-オクタノール/水分配係数(log値)
蒸気圧
密度および/または相対密度(g/ml)
相対ガス密度
粒子特性

固体
白色～ほぼ白色
情報なし
> 300℃
549.19℃(標準気圧)
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
634.6g/L(at 25℃)
DMSO:わずかに
-1.5(at 25℃)
0Pa(at 20℃)
0.61
情報なし
情報なし

10. 安定性および反応性

反応性
化学的安定性
避けるべき条件

情報なし
通常の下では安定
加熱、高温、裸火、静電気、スパーク、直射日光、衝撃、摩擦、混触危険物質との接触

混触危険物質
危険有害な分解生成物

情報なし
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性
経口
経皮
吸入
皮膚腐食性/刺激性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
誤えん有害性

LD50: > 7,000 mg/kg(ラット)
情報なし
LC50: > 770,000 mg/m³(ラット)
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性
魚類

情報なし

| | |
|------------------|-------------------------------|
| 甲殻類 | 情報なし |
| 藻類 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生物蓄積性(BCF) | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | |
| n-オクタノール・水分配係数 | 情報なし |
| 土壤吸着係数(Koc) | 情報なし |
| ヘンリー定数(PaM3/mol) | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。 |
| 汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報 | 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------------|--|
| 国際規制 | |
| 国連番号 | 3082 |
| 国連輸送名 | 環境有害物質(液体) |
| 国連分類 | 9 |
| 容器等級 | III |
| 海洋汚染物質 | 該当 |
| 国内規制 | |
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規制に従う。 |
| 輸送または輸送手段に関する特別の安全対策 | 道路法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物 |
| その他の注意 | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | 171 |

15. 適用法令

| | |
|---------|-----------------------------|
| 海洋汚染防止法 | 個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示) |
| 船舶安全法 | 有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1) |

16. その他の情報

| | |
|--------|---|
| 主な参考文献 | webデータベース "ezADVANCE"(2023/09/05 アクセス) ウェブサイト "PubChem"(2023/09/05 アクセス) ウェブサイト "Chemical Book(2023/09/05 アクセス) SAFETY DATA SHEET (NAVCUSOL-90), Navdeep chemicals Pvt. Ltd, Revised on 2019/04/01 |
|--------|---|

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 9月 7日 作成